



国際ロータリー第2730地区

RYLA 開催趣旨

2021年7月18日

第1回 RYLA 開催についての地区委員会・ホストクラブとの打合せ会資料



日 時 R3年7月18日 10時30分～11時30分
場 所 都城 メインホテル RID2730 地区事務所
参加者 ガバナー補佐
地区幹事
鹿児島東南ロータリークラブ (ホストクラブ)
西都ロータリークラブ (ホストクラブ)
地区 RYLA 委員会



RYLA 開催にあたって

目的としてリーダーシップ・健全な市民・自己啓発の3点に主眼とし

- ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に関心を持っていること
(青少年育成の意思)を示すこと。
- 若者に講義と討論(自らの考えを表現しまた他人の意見を聴き入れること)を体験させ、責任ある有能なボランティア青少年リーダーとなることを援助すること。
- 青少年による青少年への指導を奨励すること。
- リーダーとして地域社会に尽くしている多数の青少年を表彰(育成)すること。

30歳までの青年男女が職場や学校での立場や役職とは違う環境の中で、自分の意見を発信し組織や団体をまとめる存在(リーダー)になる為の訓練を行う。また、カウンセラーとしてつくロータリアン(ローターアクター・学友会等)は、客観的な立ち位置から若者がリーダーとなっていく為の過程を提供するという訓練を行う。

※初めて会う人とディスカッションを通じて共に、知り合い・共感しあい、
体験を共有してもらうこと※

- ・インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生などの参加をさせたい。
- ・ロータリーを知ってもらいロータリアンの増員・ローターアクターの増員に繋げたい。
- ・参加者でライラリアン(RYLA学友会)生を組織して、未来のロータリアン候補生としてロータリアンが育成を支援しよう。等の考えから、

今後のRYLAの方向性を、

- 1、ホストクラブの皆さまに、RYLAの思いを伝え、また青少年奉仕委員の目的を深めってもらうために地区委員が各ホストクラブ・コホストクラブの方々と協議をしていく。
- 2、RYLA参加者は、終了後、ライラリアン(RYLA学友会)生とし、RYLA開催を手伝ってもらうこと、そしてその後はローターアクトやロータリーに入会することを

以上の2点を推し進めていきます。

実施にあたって

① RYLA 基本形式について

- ・1泊2日とする（遠方より参集するため、昼ごろ集合、翌日昼ごろ解散とする）

② RYLA の実施について

- ・地区 RYLA 委員会、ホストクラブとの協議で日程を設定。
- ・地区委員会により講師の設定を行う。（内定済）
- ・時間割については、食事時間、入浴時間等開催会場にて規定はあるので、詳細なプログラムはホストクラブにお任せする。
- ・ホストクラブが単独での開催も問題ないが、カウンセラーなどを募るためグループ内での実行委員会方式での開催をお願いしたい。
- ・予算に不安な場合は参加者（ロータリアン）から参加費を徴収しても構わない。

③ 予算管理について

- ・全体の予算は RYLA 委員会で管理し、ガバナー事務所に報告する。
- ・講演者費用等は地区委員会で管理し、開催に対するその他の費用はホストクラブに管理をお願いし、RYLA 終了後決算を報告してもらう。
- ・2ヶ所の RYLA 開催後に清算し地区委員会へ清算書、領収書等と残金を送付する。

④ 海外研修及び今後学友会（ライラリアン）を設立について

- ・RYLA 卒業生のアフターフォローを行うと共に、次期 RYLA 等での手伝いの機会を設け、ロータリーファミリーとして活動を共にできるよう RYLA 学友会（ライラリアン）を設立する予定。またライラリアンは地区学友会にも所属することもできる。
- ・運営にも協力もらえるように今後組織化していく。

⑤ 以後のホストクラブ選定について

- ・グループごとの持ち回り制とし、グループ内にてホストクラブを選定して頂く。
- ・ホストクラブはライラリアンと共に RYLA を主管する。
- ・グループ内のクラブ数に考慮して以下の順番で持ち回り制とする。

○宮崎地区

「北部 G → 中部 G → 西部 G → 南部 G → 北部 G → 中部 G → 西部 G」7 年を 1 クルーとします。

○鹿児島地区

「北部 G → 市内 BG → 東部 G → 中部 G → 奄美 G → 西部 G → 市内 AG → 北部 G → 東部 G

9 年を 1 クルーとします。なお、グループ内の順番は各グループにお任せする。

地区内での RYLA 周知のため、各クラブから毎年 1 名は研修生を推薦、またグループ内では子ホストとして協力して頂ければと考えている。

協議内容

①確認事項について

ホストクラブ

- ・宮崎地区は北部グループ 西都ロータリークラブ
- ・鹿児島地区は市内Bグループ 鹿児島東南ロータリークラブ
- ・予算は各ホストクラブへ50万円（前回は40万円）の予定

②開催日時について

- ・1泊2日で開催する
- ・2022年4, 5月に予定したい。
- ・仮に 4月16-17 23-24 30-5/1 5月 13-14 28-29
→候補は5月28-29日。

次年度地区研修協議会の日程が決まり次第、決定する。

- ・講演を、ZOOMを使って東京からもしくは宮崎・鹿児島に来ていただき同日、同時間に開催したい。不可能の場合は、後日開催箇所は映像での講演としたい。
※公演時はWi-Fi設備、プロジェクター、マイクなどのOA設備が必要なので開催場所についてはご留意ください。
- ・移動等必要になることもあり得る早急にあたって頂きたい

③プログラム内容について

◎講演

テーマ（仮）「個と和」を活かすリーダー論・若手リーダーとして自立するために
講師 元日ハム 白井一幸コーチ（仮押え済）

◎メインプログラム（案）

・課題

「西遊記を読み物語に出てくる5人の登場人物、孫悟空、猪八戒、沙悟浄、三蔵法師、白竜からそれぞれが持つリーダーとしての素質とは何か答えよ。また、それを踏まえて理想のリーダー像とは何か答えよ。」

・発表形式

2日目の報告時間に各班10分程度で映像もしくは模造紙等を作成し発表する。
発表者に関しても各班の方式で構わない。

- ・審議形式

各班に分かれ、課題発表から報告までの時間の使い方に関しては各班に任せる
(審議・製作・睡眠)。

- ・カウンセラー出来るだけ長い時間、班の活動に同行する。

④参加者募集範囲について

- ・宮崎地区は宮崎県内、鹿児島地区は鹿児島県内を基本とする。
- ・ホストクラブのあるグループが主となりグループ内で参加者を募ることになる。

今までのRYLAは各会社の新人社員研修の意味合いが強かった。そこを以下の意味合いに変更したい。

- 1、ロータリーファミリーの絆
- 2、ローターアクトの会員増強
- 3、ロータリー会員増強に繋げたい

各クラブより1名もしくは2名程度の募集。研修生は30名としたい。

- ・1班6名5班編成としたい。(各班に1、2名ロータリアンのカウンセラーがつく)
- ・班分け以降は、班の親睦・意見交換が活発になるように他の班との交流・会話は極力控える。
- ・3482地区(台北)より5、6名来日の予定(地区委員会で把握する)
→今期は国際ロータリーの要請で、来日なしの可能性が濃い
- ・班分けは、同じ派遣クラブのメンバーが混在しないように分けをする。

⑤地区委員会とホストクラブとの役割分担 (別紙参照)

- ・参加ポスター作成 地区委員会
- ・参加者募集依頼 ホストクラブ
- ・参加者の把握・名簿作り ホストクラブ
- ・プログラム作成(メインプログラム) ホストクラブ
- ・名札・当日用プログラム等 ホストクラブ
- ・宿泊部屋割り ホストクラブ



- ・修了証 地区委員会
- ・報告書作成（感想等） ホストクラブ あと詳細は協議の上決定したい。

⑥RYLA カウンセラーの研修会実施について

◎カウンセラーはあくまで班内での意見交換が活発になるような促し、または時間内に各班の答えが形になるようにアドバイスを行う大人としての位置づけ。

- ・直接的な答えにつながる発言などは控える。
- ・RYLA の指導者は「先生」ではなく、かつ、権威やお説教によって受講生を教え、導くのではない
- ・出来る限り注意深く耳をかた向ける。（班の風土づくり）
- ・ありのまま受け入れる。（班の受容）
- ・班に関係なく私個人として受け入れる。（個人の受容）
- ・個人が伝えようとする正しい意味を理解する。（共感的理解）
- ・自発性が一番大切で、欠くことのできない要素だと考える。（計画・演習を避ける）
- ・グループプロセスは班のメンバー間から自然に出てきたものでなければならない。
- ・間違った行動を示すときも班の示す知恵を自分自身より信頼する。

班の変化について

当惑⇒グループの目的・同一性の模索⇒否定的感情⇒相互信頼の発展⇒親密感

- ・後日、カウンセラーが決定しだい研修会を実施したい。
1時間半程度 日時、場所等は後日。

⑦その他

- ・参加資格としてのワクチン接種について
→開催の可否について、危機管理委員会と協議してガイドライン作成



参考資料① 参加者募集要項（例）

1. テーマ（仮）「個と和」を活かすリーダー論・若手リーダーとして自立するために
2. 目的 職場や学校での立場や役職とは違う環境の中で、自分の意見を発信し組織や団体をまとめる存在（リーダー）になる為の訓練を行います。
3. 日時 令和〇年〇月 9 〇日（土）～〇日（日）
4. 場所 〇〇〇〇〇 一現地集合一
〒〇〇〇〇—〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 TEL _____
5. 参加資格 県内各クラブから推薦され、宿泊できる青年（18 歳から 30 歳まで）及びロータリアン、ローターアクト・学友生
・研修生は各クラブ 2 名程度を推薦してください。
ロータリアンは、各クラブ会長、幹事、青少年奉仕委員長はぜひ参加してください。
6. 主催 国際ロータリー第 2 7 3 0 地区 RYLA 委員会
7. ホスト 〇〇ロータリークラブ
8. 内容 講演・研修・ワークショップを行う
9. 講師 元北海道日本ハムファイターズ一軍内野手コーチ兼作戦担当
白井一幸氏
10. 申し込み 別紙参加申込書に記入のうえ FAX またはメールにて下記申し込み先へ。
記入された個人情報は、今回の研修以外の目的には使用しません。
11. 申し込み先 〇〇ロータリークラブ事務局
〒000-0000 住所・・・・・・
TEL・FAX・・・・・・ E-mail・・・・・・
12. 申込締切 令和 3 年〇月〇日（〇曜日）
13. 参加費 研修生＝無料 ローターアクト＝無料
ロータリアン＝一人当たり 0, 0 0 0 円（宿泊費含む）
14. 参加費振込先
〇〇銀行 〇〇支店 普通〇〇〇〇
〇〇ロータリークラブ
15. 振込締切 令和 3 年 1 2 月〇日（〇）
お振込み後の返金はありません。準備の都合上、直前の追加・キャンセルはお受けできませんのでご了承下さい。
16. お願い 参加者に対する事前の説明資料等はありませんので、参加者に対しては、各クラブより当該要項当配付の上、ご説明のほど宜しくお願い致します。



参加者募集

「個と和」を活かすリーダー論 若手リーダーとして自立するために



駒澤大学卒業後、1983 年ドラフト1位で日本ハムに入団。1987 年ベストナイン、ゴールデングラブ賞を受賞。1991 年リーグ打率3位、最高出塁率を記録。現役引退後2軍総合コーチ2軍監督を経て2003 年から1軍総合コーチを務めリーグ優勝2回日本一1回を獲得。2014 年より北海道日本ハムファイターズ一軍内野手走塁コーチ兼作戦担当を任せ2016 年10 年ぶりに日本一に輝く。大リーグエンジェルス大谷翔平のコーチも務めた。JPSA 認定ベースックプロスピーカーとして全国で講演活動をおこなう。

講師 白井一幸氏 (しらい かずゆき)

元北海道日本ハムファイターズ一軍内野手走塁コーチ兼作戦担当

RYLA 研修は、白井一幸先生の講演を聞いていただき、「個と和を活かすリーダー論・若手リーダーとして自立するために」と題して、リーダーとなるために何が必要なのか、何に気を付けなければならないのか、各班に分かれ2日間ワークショップ形式で議論してもらいます。

開催日
鹿児島地区
平成31年3月9-10日
薩摩川内市立少年自然の家

宮崎地区
平成31年3月16-17日
宮崎県
むかばき青少年自然の家

白井一幸先生の講演の後、青年男女が職場や学校での立場や役職とは違う環境の中で、自分の意見を発信し組織や団体をまとめる存在（リーダー）になる為の訓練を行います。またアドバイザーとしてつくロータリアン（ローターアクター）は、客観的な立ち位置から若者がリーダーとなっていく為の過程を提供するという訓練を行います。

課題は各班に分かれ西遊記を読み物語に出てくる5人の登場人物、孫悟空、猪八戒、沙悟浄、三蔵法師、白竜から・・・それぞれが持つリーダーとしての素質を探し出し、それを踏まえて理想のリーダー像を探してもらいます。

連絡先・お問合せ

国際ロータリー2730地区 Rotary RYLA 実施計画(案)



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
担当																					
ホストクラブ内定	持ち回りグループ内定	持ち回りグループ内定	持ち回りグループ内定																		
ホストクラブ公表・決定			PETSにて公表														PETSにて公表				
テーマ作り・日程・会場設定																					
予算概算編成																					
プログラム決定																					
ゲスト・講師の要請																					
地区研修・協議会での告知																					
第1回ホストクラブとの打合せ																					
ホストクラブ・グループ内調整 カウンセラー要請、詳細説明																					
研修生依頼																					
RC等参加者の把握																					
名簿作成																					
第2回ホストクラブとの打合せ																					
名札作り																					
宿泊部屋割り																					
当日用プログラム印刷																					
修了証 作成																					
実施																					
報告書作成																					